

# 内部監査について

組織に存在する課題とその解決について、企業内に監査チームを設け、課題の洗い出しと経営役員とのインタビューを通じて、課題の解決に努めています。令和4年度は、令和4年12月26日に、弊社富山営業所に於いて実施しました。

尚、内部監査は複数の項目に渡り実施するため、弊社ホームページでは、一部抜粋で掲載させていただきます。

## 【内部チェックリスト】

項目	チェック内容	監査所見
教育・訓練	【技能要員】 1. 今年度の運転者研修における目的や狙いを問う。	コロナ禍、乗務の機会が減少し、運転者の技能低下が懸念されます。今年度の運転者研修では、観光需要の回復も見据えた上で、安全運行についての座学研修と平行し、路上での実技研修を実施する事で、運転技能の向上および維持を目的としています。

## 【監査報告書】

監査報告書	監査年月日:令和4年12月26日
監査チーム 監査リーダー:1名 監査員:2名(富山営業所社員より選任)	

### 1. 監査の目的

【安全重点施策】安全マネジメントに基づいた安全方針が適切に実行されているか。

【教育・訓練】運転者の中長期的な中長期的な人材育成の方針について。

### 2. 監査の講評・所見

経営役員および一般社員が、事故が発生した場合のリスクを理解し、安全に対する意識の高まりが感じられ、安全方針が浸透し、適切に実行されています。

### 3. 指摘事項

バス業界は、運転者の高齢化が指摘されています。今後は、次世代を担う若い運転者の育成が課題となっていますが、その育成のための企業としての明確なビジョンの示す事が望ましい。